

## 会議録

会議の名称	令和7年度第3回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和7年11月13日（木）午前10時から午前10時53分まで
開催場所	西東京市役所防災・保谷保健福祉総合センター6階講座室2
出席者	<b>【委員】</b> 古厩委員、関根委員、町田委員、富樫委員、小林委員、鈴木委員、大林委員、貝沼委員、秦委員、下田委員、岩澤委員
議題	西東京市地域公共交通計画の施策について 施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討
報告	・はなバスの年末年始ダイヤについて
その他	・令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定） ・各委員より
会議資料の名称	≪配布資料≫ 資料1－1 公共交通空白地域における実証運行の利用速報値について 資料1－2 西東京市実証運行 利用者アンケート 資料1－3 西東京市実証運行 地域住民アンケート 資料2 はなバス年末年始ダイヤについて 資料3 令和7年度 西東京市地域公共交通会議スケジュール（予定）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<b>1 開 会</b> ○会 長： 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。  <div style="text-align: center;">～全員賛成～</div> ○会 長： それでは、本日の会議については公開とする。	
<b>2 議 事</b> <b>協議事項「施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討」について</b> ○会 長： 協議事項「施策3 公共交通空白地域における需要と状況に応じた移動手段の導入の検討」の説明を事務局へ求める。  ○事務局： 資料1－1、1－2、1－3の説明。  ○会 長： 事務局からの説明について、町田委員から補足があれば発言願いたい。  ○委 員： 乗務員からは、利用者からの声として「実証運行車両の時間に合わせてスケジュールを立てている。気分転換に利用できている。」「こんな事業が欲しかった。」などのご意見があったこと、通りがかりの方から「どこ	

で乗れるのか」とのお尋ねがあり、利用ガイドを手渡したこともあると聞いている。

アンケートを見ると、「はなバスに比べると高額である」「タクシーよりは安価である」などのご意見があり、各々の価値観によるものだと感じる。

また、11月8日に開催された市民まつりで実証運行車両を展示した。その際には、事業自体を知らない人や存在自体は知っていたが運行を開始していることを知らない方が多くいる印象だった。

三鷹市で行っている同様の事業では、ニーズがうまく合い、順調な事業展開がなされている。本事業もニーズが合っていくといいと考える。

○会 長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば挙手願いたい。

○委 員： 資料1－3の地域住民アンケートは12月15日頃から来年1月12日までの約4週間実施するとのことだが、資料1－2の利用者アンケートは運行期間中の設置ということかと思う。1－2の回答の集約時期の想定があるか。

○事務局： 都度積み上げ集計を行う予定であり、今後の地域公共交通会議において適宜報告する。

○委 員： ロケーションシステムが入っているが、アクセスログは見れるか。どのくらい閲覧されているのかを知りたい。

○事務局： アクセス数は把握している。次回以降詳細を共有予定だが、10月31日時点でマップページが760件閲覧されている。

○委 員： 利用者数とロケーションシステム閲覧数が比較して見られると良いと思う。

○委 員： 運行時間が9時30分から16時30分となっており、高齢者の利用が多いと推察するが、実際の利用者の年齢層はいかがか。また、現金払いのみとあるが、今後電子マネーの対応を検討しているか。

○事務局： 比較的高齢者が多い印象である。今回の実証運行では、設備機器の問題で電子マネーが対応できていないが、本格運行になった際には改めて検討していきたいと考えている。

○委 員： 速報値の利用者実績の数値をどう評価しているか。また、目標はどう設定しているか。利用者アンケートを分析する必要があるかと思うが、回答状況はいかがか。

○事務局： 前回の実証実験と比較して、一定の利用者がいることから、順調な滑り出しと認識している。事務局としては、1便1人、1日42人、1週間で210人を目指し、今後も広報等を積極的に行っていきたいと考えている。利用

者アンケートでは、「小さい子どもがいるため、天気によらず買い物に行けて便利」「電車よりも早く田無駅に行くことができる」「土日に運行してほしい」「交通系ICが利用できると良い」「朝早い時間帯も運行してほしい」といったご意見を頂戴した。回答数は10月末時点で21件、紙の回答が16件、オンラインの回答が5件あった。

○委員： 分析につなげられるほどのアンケートの回答数を得ることが難しいと感じる。

○委員： 田無駅北口発むくのき公園行は、柳沢第一児童遊園や柳沢団地通りにのりばが設定されていないということだが、その理由は。

○事務局： 柳沢団地通りからむくのき公園まで距離がないため、その間乗車される利用者がいないと推測していることと、柳沢第一児童遊園は、むくのき公園発田無駅北口行で使用している乗降地点が一方通行の道路となっていることから設定されていない。また、降車についてはフリー降車区間となっている。

○会長： 各委員からアンケートの内容について、別途意見がある場合は、事務局へ1週間程度でお伝えいただきたい。

事務局は、利用者アンケートの回収率が高いと利用者の意向を汲むことができるため、引き続き工夫をしていくこと。また、アンケート結果やロケーションシステムのアクセス状況も併せて報告すること。

#### **報告事項① はなバスの年末年始ダイヤについて**

○会長： (2) 報告事項①「はなバスの年末年始ダイヤについて」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料2の説明。

○会長： 事務局からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

＜ 質問意見なし ＞

○会長： 事業者の雇用の関係からも本数を減らしての運行に理解を求めたい。  
(2) 報告事項①「はなバスの年末年始ダイヤについて」の議論は以上で終了する。

#### **その他 (1) 令和7年度西東京市地域公共交通会議スケジュール(予定)**

○会長： その他事項「令和7年度西東京市地域公共交通会議スケジュール(予定)」の説明を事務局へ求める。

○事務局： 資料3の説明。

**その他 (2) 各委員より**

○会 長： 委員の皆様からのこの場で伝えたいことがあれば発言願いたい。

○委 員： 今回より新しく委員になった市民委員に尋ねる。市民目線で実証運行の周知方法が有効かについて意見を求めたい。

○委 員： 公民館や市の公共施設、アスタの玄関で宣伝されているのを見て事業の開始を知った。よく行く場所での宣伝が効果的だと思う。市役所内よりは頻繁に行く場所、例えばきらっとや運動場などもより周知されると感じる。高齢者の利用が多いとのことだったので、病院もいいかと思う。

○委 員： スーパーマーケットや駅の改札の目の前の掲示板や地域の学校が良いのではないか。

○事務局： 今回の実証運行開始にあたって、のりばの場所がわかりづらいとの意見を頂いている。今回の実証運行に関する運輸局の許可の内容として、バスのようなポールを立てた停留所を設置することができないため、看板の設置で対応している。田無駅北口は特にのりばがわかりづらいとのことで、のりばまでの案内ポスターを掲示予定である。田無駅北口以外の乗降場所では看板に工夫をすることで対応している。武蔵野大学でも周知が進むよう、情報提供を行ってきている。引き続き、周知活動に努める。

○委 員： 田無駅ののりばがわかりづらいとのことであるが、はなバスの停留所と共有することはできないか。制約があるものか。

○事務局： はなバスの便数が多く、利用者が行列を作っている状況であり、実証運行ののりばを設置することは難しいと判断した。

○委 員： 利用ガイドにも乗降場所の写真が掲載されているが、やはりわかりづらく感じる。のりばに路面ペイントを施すのはどうか。

1時間3本の運行があり利便性がある。長期間の運行で、今後周知が進んでいくと、利用者が増加されることが期待できる。

はなバスの停留所を実証運行ののりばとすることについては、はなバス・路線バス含めて大型車両の利用が飽和している状況のため、ロータリー外にのりばを設定されているのはよいと考える。

○事務局： 田無駅北口については、「実証運行のりば」の路面シールを設置している。他の乗降場所についての設置は、関係機関と協議を進めていく。

○会 長： 様々なご意見に御礼申し上げます。以上をもって令和7年度第3回西東京市地域公共交通会議を閉会する。

以上